≪総括判断≫

景気は、厳しい状況をなお脱していないが、緩やかな改善が続いている。各種の政策効果やアジア経済の回復などの影響に加え、企業部門を中心に、自律的回復に向けた動きが続いている。

厳しい状況をなお脱していないが、緩やかな改善が続いている。

雇用情勢
（p11）

個人消費
（p３）

企業倒産
（p12）

各種の政策効果やアジア経済の回復などの影響に加え、企業部門を中心に、自律的回復に向けた動きが続いている。

金融政策
公共投資
住宅減税
信用保証　等

輸出（ｐ８）
生産
等

生産（ｐ10）
設備投資（ｐ６）
企業収益（ｐ12）
等

個人消費（収入の下げ止まり）（ｐ３）

≪政策態度≫

政府は、引き続き、景気回復に軸足を置いた経済・財政運営を行い、景気を自律的回復軌道に乗せていくよう全力を挙げつつ我が国経済の動向等を注意深く見ながら適切に対応する。また、経済構造改革に迅速かつ大胆に取り組む。今後、日本新生プランの具体化のための新たな経済政策を取りまとめることとしている。

日本新生プランの具体化のための新たな経済政策の取りまとめ

我が国経済を自律的な回復軌道に乗せていく

日本経済の新生